

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	01	自然・環境
取組の基本方針	02	循環型社会の形成

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	ごみ処理手数料等管理経費
担当課	生活環境部環境室廃棄物対策課

目的と 事業概要	江別市と手数料収納委託契約を締結したスーパー等の取扱店にて指定ごみ袋等を市民へ有料交付することにより、家庭ごみの処理手数料を収納する。この事業を実施するため指定ごみ袋の製作、ごみ処理券印刷、取扱店への取扱委託料の支払い、指導、指定ごみ袋等の保管、取扱店への配送を行う。
前年度までの 実施内容 と効果	<p>○家庭ごみ処理手数料収納に係る業務</p> <p>①有料ごみ袋等の製作、保管、配送に関する業務</p> <p>②有料ごみ袋の販売に関する業務</p> <p>③公共の場所の清掃用袋の製造、配布業務</p> <p>④手数料の減免に関する業務</p>
R3年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>道路や公園などの公共の場所を清掃していただくときに利用可能な「公共ごみ袋」に関し、従来は40ℓのサイズのみであったが、市民から個人で公共の場を清掃する際に小さなサイズの袋が欲しいという要望があったため、10ℓの袋を新たに追加する。</p>

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】							
ごみ処理手数料等管理経費(ごみ袋等製造、保管、配送等業務委託料など) (うち、新規10ℓ公共ごみ袋製作費用)		7,977.2	8,678.4	8,663.7 (うち20.2)	△14.7	8,545.6 (うち20.2)	△118.1
計		7,977.2	8,678.4	8,663.7	△14.7	8,545.6	△118.1
財 源 内 訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	7,977.2	8,678.4	8,663.7	△14.7	8,545.6	△118.1
主な増減理由(前年比)		指定ごみ袋等の単価の減少による減額					
査定内容		・事業費精査の上、要求どおり予算計上(△118.1万円)					

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	02	産業
取組の基本方針	01	都市型農業の推進

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	都市と農村交流事業
担当課	経済部農業振興課

目的と 事業概要	<p>生産者と消費者との相互理解を深め、グリーンツーリズム関連施設の利用増を図ることで、市民の地産地消や農村地域の活性化につなげることを目的としている。</p> <p>江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会が実施する野菜づくり講習会や農畜産物加工品フェアなどの消費者と生産者の交流事業の開催経費を補助し、また、6次産業化商品のレベルアップ及び新たな担い手の育成支援、都市と農村の交流センターの利用促進のため、農畜産物加工品の新商品開発等に対する補助を実施する。</p>
前年度までの 実施内容 と効果	<p>1.都市と農村交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜づくり講習会、直売所スタンプラリー、農家のかあさん土曜日、市内バスツアー等を実施。 イベント開催数 H29:16回 H30:17回 R元:15回 <p>2.農畜産物加工新商品開発等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化に取り組む農業者等に対し、容器包装等のデザイン委託費、調理機材等の賃借料等を補助する。 補助実績 H29:3件 H30:2件 R元:2件
R3年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>2015年に施行された食品表示法の経過措置期間が終了し、2020年から新制度へと完全移行された。それに伴い、販路を確保するためには、食品表示を整える必要があり、パッケージ変更等を余儀なくされているため、6次産業化に取り組む農業者等に対して、支援の充実を図る。</p>

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】							
都市と農村交流事業		90.0	90.0	90.0		90.0	
農畜産物加工新商品開発等支援事業		11.0	70.0	120.0	50.0	80.0	△40.0
計		101.0	160.0	210.0	50.0	170.0	△40.0
財源 内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他	34.3	130.0		△130.0	100.0	100.0
	一般財源	66.7	30.0	210.0	180.0	70.0	△140.0
主な増減理由(前年比)		<p>農畜産物加工新商品開発等支援事業(補助金)の増加 (2件→3件) 【補助率 1/2以内 限度額400千円】</p>					
査定内容		<p>・農畜産物加工新商品開発等支援事業について、近年の実績に基づき2件分(80.0万円)で査定 ※財源内訳・その他・・・ふるさと納税(100.0万円)</p>					

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	02	産業
取組の基本方針	02	商工業の振興

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	創業スタートアップ支援事業
担当課	経済部企業立地推進室企業立地課

目的と 事業概要	創業に関心がある人などを対象に、創業支援相談員との相談の場の提供や、創業に必要な知識を身に付けられるセミナーなどを開催することにより、創業に関心を持つ人、創業や新たな事業展開の増加を図る。
前年度までの 実施内容 と効果	<p>①創業支援相談員による相談対応 中小企業診断士の有資格者に創業支援相談員を委嘱し、創業希望者が作成した事業計画書などに対して助言を行う(令和元年度相談者数24人)。</p> <p>②元町アンビシャスプラザ共用部賃借 インキュベーション施設である元町アンビシャスプラザの共用部を市が賃借することで、入居を希望する創業間もない創業者が安価に入居できるよう支援する(令和元年度入居区画数5区画)</p> <p>③創業支援セミナー及び実践創業塾の開催 創業に必要な知識を身に付けられるよう創業支援セミナー及び実践創業塾を開催する(令和元年度参加者 創業支援セミナー:30人 実践創業塾:11人)</p> <p>④創業支援等事業者への補助 市の創業支援等事業計画に位置付けられ、市と連携して取り組む創業機運醸成事業に対して補助を行う(令和元年度補助額160万円)</p>
R3年度の実 施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 創業支援相談員による相談対応については近年、同一相談者が複数回相談を希望する傾向にあり、令和2年度についても当初の想定を上回ることが予想される。こうした傾向に対応するため、次年度は対応回数増加を見込んだ予算増額について意見を伺う。 例年開催している創業支援セミナーについて、次年度は新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合の対応として、感染防止の観点からオンラインによる参加希望者にも対応したセミナーとするため、各種設備を準備するための予算増額について意見を伺う。

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】							
	創業支援相談員による相談対応経費		44.4	64.8	20.4	64.8	
	元町アンビシャスプラザ共用部賃借経費		189.8	189.8		189.8	
	創業支援セミナー及び実践創業塾開催経費		85.2	90.5	5.3	90.5	
	創業支援等事業者への補助経費	160.0	160.0	160.0		160.0	
計		160.0	479.4	505.1	25.7	505.1	
財 源 内 訳	国・道支出金						
	市債						
	その他		64.0	77.0	13.0	77.0	
	一般財源	160.0	415.4	428.1	12.7	428.1	
主な増減理由(前年比)		<ul style="list-style-type: none"> 創業支援相談員による相談対応回数の増加に伴う経費の増(20.4万円) オンラインによるセミナー参加希望者への対応に伴う経費の増(5.3万円) 					
査定内容		<ul style="list-style-type: none"> 要求どおり予算計上 ※財源内訳・その他・・・いきいきふるさと推進事業助成金(77.0万円) 					

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	03	福祉・保健・医療
取組の基本方針	02	健康づくりの推進と地域医療の安定

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業
担当課	保健センター・国保年金課・介護保険課

目的と 事業概要	高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施することで健康寿命の延伸を図ることを目的とする。 高齢者にかかる医療・介護・保健データを一体的に分析することにより、健康課題の把握を行い、高齢者を対象とした個別支援(ハイリスクアプローチ)と通いの場等を活用した健康教育などを実施する。
前年度までの 実施内容 と効果	令和3年度新規予定事業
R3年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>制度や年齢によって、健診や保健事業、介護予防事業がそれぞれ提供されているが、北海道後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、市が一体的に実施することにより、健康寿命の延伸を図る。 医療専門職(保健師)を配置し、各担当課で把握している高齢者の医療・介護・保健データを一体的に分析・企画・調整を行う。 また、新たに後期高齢者に対する保健指導を行い、国民健康保険からの継続性を確保する。</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護・健診結果等のデータ分析による健康課題の把握 ・通いの場や高齢者クラブ等への専門職派遣による健康教育・健康相談 ・後期高齢者質問票を用いたフレイルチェック ・後期高齢者への生活習慣病重症化および低栄養予防のための個別支援 <p>なお、事業の実施にあたっては既存の介護予防事業と連携するとともに、後期高齢者健診の項目の充実を図ることにより受診率の向上対策にも取り組む。</p>

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
財 源 内 訳	【積算内訳】						
	専門職派遣による健康教育・健康相談経費			56.4	56.4	56.4	
	後期高齢者質問票を用いたフレイルチェック経費			124.9	124.9	124.9	
	生活習慣病重症化等個別支援経費 その他(地域担当会計年度任用職員報酬等)			101.4 242.0	101.4 242.0	101.4 242.0	
	計			524.7	524.7	524.7	
	国・道支出金						
	市債						
	その他			524.7	524.7	524.7	
	一般財源						
主な増減理由(前年比)							
新規事業							
査定内容							
・要求どおり予算計上 ※財源内訳・その他・・・後期高齢者医療広域連合受託収入(524.7万円)							

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	03	福祉・保健・医療
取組の基本方針	03	障がい者福祉の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	重度心身障がい者等交通費助成事業
担当課	健康福祉部障がい福祉課

目的と 事業概要	重度心身障がい者に対してタクシー利用料金及び自動車等燃料費の一部を助成することにより、その生活圏の拡大及び社会参加の促進を図る。
前年度までの 実施内容 と効果	<p>重度心身障がい者に対するタクシー利用料金助成事業</p> <p>○対象者 助成の対象は、在宅の市内居住者で、次のいずれかに該当する方。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2級の身体障害者手帳所持者 ・A判定の療育手帳所持者 ・1級の精神障害者保健福祉手帳所持者 <p>○実施内容 年間最大24枚分のタクシーチケット(1枚当たりタクシー基本料金相当額)を交付。</p> <p>○受給者数 平成29年度1,554人、平成30年度1,585人、令和元年度1,610人</p>
R3年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現在実施している重度心身障がい者に対するタクシー利用料金助成事業に、新たに自動車等の燃料費助成を選択できる制度を導入する。</p> <p>○対象者 重度心身障がい者に対するタクシー利用料金助成事業の対象者と同様。</p> <p>○実施内容 年間最大24枚分のタクシーチケット(1枚当たりタクシー基本料金相当額)と、年間最大12枚分の自動車等燃料チケット(1枚当たり500円)のうち、対象者が希望するいずれか一方を交付。</p>

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】							
	チケットの印刷代	29.1	32.7	38.6	5.9	37.6	△1.0
	チケットの申請・交付に係る郵送料	41.4	60.8	105.9	45.1	105.9	
	チケットの利用料	1,418.4	1,506.3	1,665.6	159.3	1,665.6	
計		1,488.9	1,599.8	1,810.1	210.3	1,809.1	△1.0
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他					800.0	800.0
	一般財源	1,488.9	1,599.8	1,810.1	210.3	1,009.1	△801.0
主な増減理由(前年比)							
【増加理由】 自動車等燃料費助成の追加に伴う事業費の増							
査定内容							
<p>・事業費精査の上、要求どおり予算計上(△1.0万円) ※財源内訳・その他・・・基金繰入金(前年度ふるさと納税分)(800.0万円)</p>							

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	04	安全・安心
取組の基本方針	03	消防・救急の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	火災予防推進事業
担当課	消防本部予防課

目的と 事業概要	「防火意識の普及推進計画」に基づき、建物火災防止対策の推進、住宅防火対策の推進、事業所等における防火・保安体制の法令順守について予防啓発を図る。
前年度までの 実施内容 と効果	<ul style="list-style-type: none"> ○実施内容 ・住宅用火災警報器の設置及び維持管理に関するイベント及び研修会の開催 【令和元年度】 消防フェスティバル(参加者約1,200名) 住宅防火アドバイザー研修会市内3か所で開催(参加者合計110名) ○効果 ・奏功事例累計26件(平成19年から) ・消火器による初期消火実施率の向上
R3年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>法令遵守の観点から住宅用火災警報器の設置の早期設置に向け、各種イベントや研修会を通じて自治会や民間事業者との連携強化を図っておりますが、住宅用火災警報器の更なる設置率向上のため、設置義務を周知するための手法について意見を伺う。</p>

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】							
	小冊子・広報用資器材の作成経費	69.7	66.8	72.8	6.0	72.8	
	イベント・研修会開催経費等	72.5	64.7	58.7	△6.0	52.3	△6.4
計		142.2	131.5	131.5		125.1	△6.4
財 源 内 訳	国・道支出金						
	市債						
	その他						
	一般財源	142.2	131.5	131.5		125.1	△6.4
主な増減理由(前年比)		新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け広報資器材を見直したことから経費が増加したが、研修の外部講師への依頼を見直すなどで、総額では前年度との増減はない。					
査定内容		<ul style="list-style-type: none"> ・事業費精査の上、要求どおり予算計上(△6.4万円) 					

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	05	都市基盤
取組の基本方針	01	市街地整備の推進

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	市民参加による公園づくり事業
担当課	建設部都市建設課

目的と 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んだ街区公園において、利用者意見を取り入れた公園の再整備を行い、地域に親しまれる公園にする。 ・再整備の内容については、地域の子ども達や自治会の参加によるワークショップ等により計画する。
前年度までの 実施内容 と効果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年から事業を開始し、1年に1公園を対象に、令和元年度で累計16公園の再整備を実施。 ・平成25年度に「江別市公園施設長寿命化計画」を策定し、平成26年度より、国の社会資本整備総合交付金事業を活用している。 ・再整備後にワークショップ参加者を対象として実施したアンケート調査では、整備計画にワークショップによる利用者意見を取り入れる手法や、完成した公園などに対する満足度は8～10割と高い結果となっている。
R3年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1公園の再整備工事を行うとともに、次年度の再整備に向けたワークショップや測量、設計を行う。 ・施設の老朽化が進んでいる公園において、利用者意見を取り入れたりリニューアルが図られるほか、利用者満足度も高い事業であり、今後も事業を継続していきたいと考える。

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】							
	調査、設計及びワークショップによる計画作成等に要する費用	521.8	312.0	544.0	232.0	544.0	
	公園の再整備工事等に要する費用	3,499.1	4,180.0	4,460.2	280.2	4,398.2	△62.0
計		4,020.9	4,492.0	5,004.2	512.2	4,942.2	△62.0
財 源 内 訳	国・道支出金	1,227.4	1,000.0	800.0	△200.0	1,250.0	450.0
	市債	2,040.0	2,550.0	2,870.0	320.0	2,830.0	△40.0
	その他	700.0	600.0		△600.0	700.0	700.0
	一般財源	53.5	342.0	1,334.2	992.2	162.2	△1,172.0
主な増減理由(前年比)		トイレ施設整備に伴う設計業務費用及び工事費の増					
査定内容		<ul style="list-style-type: none"> ・事業費精査(単独事業の一部を補助事業へ組替え)の上、要求どおり予算計上(△62.0万円) ・社会資本整備総合交付金(国庫支出金)の額を精査し計上(1250.0万円) ・市債の額を精査し計上(2,830.0万円) ※財源内訳・その他・・・基金繰入金(700.0万円) 					

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	06	子育て・教育
取組の基本方針	01	子育て環境の充実
まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	03	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

事業名	放課後児童クラブ運営費補助金
担当課	健康福祉部子育て支援室子育て支援課

目的と 事業概要	近年における女性の就業割合の高まりや核家族化の進行など、児童と家庭を取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後や週末等に児童が安心して生活できる居場所を確保するとともに、次代を担う児童の健全な育成を支援することを目的に、「江別市民間放課後児童クラブ運営費補助金交付要綱」に基づき、民間放課後児童クラブに対し、運営費の一部を補助する。
前年度までの 実施内容 と効果	市内に設置されている民間放課後児童クラブに対し、利用児童数、開設日数、開設時間等に応じ、運営費の一部を補助することにより民間放課後児童クラブの安定した運営が維持され、放課後等における留守家庭児童の居場所づくりが図られ、児童の健全育成の推進に繋がっている。 ○令和2年度補助対象クラブ数 18クラブ
R3年度の 実施内容	【意見募集にあたっての論点】 待機児童の発生が見込まれる地区及び未開設地区における民間放課後児童クラブの新規開設(3クラブ)に伴う運営費及び開設に係る施設整備費等の補助を追加し、安心・安全な放課後居場所づくりの拡充を図り、子育て世代を支援する。

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】							
運営費補助金等		11,216.0	13,513.4	14,680.3	1,166.9	14,783.3	103.0
計		11,216.0	13,513.4	14,680.3	1,166.9	14,783.3	103.0
財源内訳	国・道支出金	7,322.7	8,870.0	9,668.2	798.2	9,642.8	△25.4
	市債						
	その他	586.2	750.0		△750.0	2,000.0	2,000.0
	一般財源	3,307.1	3,893.4	5,012.1	1,118.7	3,140.5	△1,871.6
主な増減理由(前年比)		民間放課後児童クラブの新規開設(3クラブ予定)による、運営費補助金等の増					
査定内容		・要求段階で見込んだ事業費の修正による査定増(103.0万円) ※財源内訳・その他・・・ふるさと納税(2,000.0万円)					

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	06	子育て・教育
取組の基本方針	02	子どもの教育の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	小中学校学習サポート事業
担当課	教育部学校教育支援室学校教育課

目的と 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に、教育委員会に学校支援地域本部を設置し、コーディネーターが学校とボランティアの連絡調整を行っている。 具体的な取組としては、複数の教員が指導するチーム・ティーチングや補充的な学習を行うため、退職教員などの教員免許を持つ学習サポート教員や、教科指導以外で学習支援を行う学校支援地域ボランティアを全小中学校へ派遣している。
前年度までの 実施内容 と効果	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、34名の学習サポート教員を登録し、延べ3,252回学校へ派遣している。また、82名の学校支援地域ボランティアを登録し、延べ479回学校へ派遣した。 児童生徒の学力について、令和元年度全国学力・学習状況調査では、小学校・中学校ともに、全教科で全国・全道平均を上回った。
R3年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、コーディネーターが中心となって、学校、家庭、地域の連携協力を図りながら、市の主要な学力向上事業の一つとして学習サポート教員を全小中学校へ派遣するなど、一人ひとりの理解度に応じたきめ細やかな指導による学習支援等を行う。

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】							
	コーディネーター報酬等	197.0	225.6	240.5	14.9	239.7	△0.8
	学習サポート教員報酬	652.4	696.7	696.7		696.7	
計		849.4	922.3	937.2	14.9	936.4	△0.8
財 源 内 訳	国・道支出金	68.4	189.3	200.3	11.0	198.8	△1.5
	市債						
	その他	234.5	405.0		△405.0	625.0	625.0
	一般財源	546.5	328.0	736.9	408.9	112.6	△624.3
主な増減理由(前年比)		コーディネーターの勤務年数による期末手当の増					
査定内容		<ul style="list-style-type: none"> 事業費精査の上、要求どおり予算計上(△0.8万円) ※財源内訳・その他・・・基金繰入金(25.0万円)、ふるさと納税(600.0万円) 					

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	07	生涯学習・文化
取組の基本方針	02	ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	01	しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
-------------------------	----	-------------------------------------

事業名	北海道林木育種場旧庁舎保存利活用推進事業
担当課	教育部生涯学習課参事(施設計画担当)

目的と 事業概要	北海道林木育種場旧庁舎(昭和2年築)を国登録文化財として保存しながら、民間活用を推進することを目的に、施設の老朽化した部分について、必要最低限の改修を実施する。
前年度までの 実施内容 と効果	<p>令和3年度実施予定の単年事業であるため、前年度までの実績はないが、利活用に係る主な取り組みは、下記のとおりである。</p> <p>平成13年度 国登録文化財として登録 市が国から建物及び敷地を購入 便宜的な一般利用開始(休憩室・トイレ・会議室等) 埋蔵文化財整理作業場として使用開始</p> <p>平成17年度 埋蔵文化財整理作業場として使用終了</p> <p>平成21年度 民間保存・利活用者募集開始</p> <p>平成25年度 大学連携調査研究事業で施設利活用の課題及び可能性を研究</p> <p>令和元年度 施設利活用実現に向けて庁内検討会議を設置</p> <p>令和2年度 公募条件を見直し保存・利活用事業者を再募集・活用事業者を決定予定</p> <p>なお、令和元年度までの、施設の保存・利活用応募件数は0件である。</p>
R3年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>北海道林木育種場旧庁舎を改修し、民間事業者(小規模事務所等)が活用することにより雇用や消費が創出され、地域活性化に貢献することが期待されるほか、これまで市が負担してきた施設の維持費(約200万円/年)が、今後不要となる。</p> <p>下記の施設の改修項目は、20年間施設を貸与することを前提に、不動産業者など40以上の事業者から現地調査を受けヒアリング調査を実施した結果を分析したもので、検討の結果、施設の民間活用実現のためには最低限必要な項目と判断した。改修費用の財源は、国の交付金の活用を予定している。</p> <p>また、民間保存・活用事業者が行う施設改修に対しては、市のふるさとふれあい推進基金を財源とした改修費補助を予定している。</p>

(単位:万円)

予算状況	R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
施設内廃棄物処分料			12.1	12.1	12.1	
屋根・外壁改修(長寿命化)			2,968.6	2,968.6	2,968.6	
窓サッシ改修(機能性向上・復元)			3,506.6	3,506.6	3,506.6	
危険箇所整備(廃ボイラー・タンク等撤去・床天井改修)			449.0	449.0	449.0	
来館者駐車場・建物擁壁整備			1,325.8	1,325.8	1,325.8	
民間保存・活用事業者への改修費補助			1,000.0	1,000.0	1,000.0	
計			9,262.1	9,262.1	9,262.1	
財源内訳						
国・道支出金			4,125.0	4,125.0	4,125.0	
市債			3,700.0	3,700.0	3,710.0	10.0
その他			1,000.0	1,000.0	1,300.0	300.0
一般財源			437.1	437.1	127.1	△310.0
主な増減理由(前年比)						
令和3年度単年事業であり、前年度までの予算実績がないことから純増となる。						
査定内容						
・要求どおり予算計上 ・市債の額を精査し計上(3,710.0万円) ※財源内訳・その他・・・基金繰入金(1,300.0万円)						

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	07	生涯学習・文化
取組の基本方針	03	市民スポーツ活動の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	はやぶさ運動広場移転事業
担当課	教育部スポーツ課

目的と 事業概要	はやぶさ運動広場の少年野球場の施設の老朽化や隣地の宅地開発が進んだことによる環境の変化により、安全性の確保や騒音、砂ぼこりなど様々な課題を解決することを目的に、都市と農村の交流センター「えみくる」へ移転を行う。
前年度までの 実施内容 と効果	<p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はやぶさ運動広場移転に係る基本構想を策定 <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移転先である都市と農村の交流センター「えみくる」の測量実施 ・少年野球場造成に係る基本設計・実施設計を実施
R3年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>外野部分は現状の草地となっている広場を活かし、また、球場設置位置を調整することで、可能な限り樹木の伐採抜根を減らす等、経費を抑えた少年野球場を造成することについて</p> <p>【実施内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①フィールド:暗渠排水を含む内野グラウンド及び外野グラウンド(一部)等の整備 ②附帯設備:バックネット、防球フェンス、ファウルポール、ダッグアウト、バックネット裏本部席等の設置 ③公式の少年野球大会(学童野球場規模)が開催できるフィールドサイズの確保

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】							
	現況測量委託料		154.0		△154.0		
	建築確認申請及び実勢価格調査等委託料			190.8	190.8	190.0	△0.8
	球場造成工事費			8,129.0	8,129.0	8,000.0	△129.0
計			154.0	8,319.8	8,165.8	8,190.0	△129.8
財 源 内 訳	国・道支出金			1,920.0	1,920.0	1,920.0	
	市債			2,500.0	2,500.0	2,500.0	
	その他			2,000.0	2,000.0	3,600.0	1,600.0
	一般財源		154.0	1,899.8	1,745.8	170.0	△1,729.8
主な増減理由(前年比)		令和2年度は現況測量、令和3年度は造成工事を実施するため。					
査定内容		<ul style="list-style-type: none"> ・事業費精査の上、要求どおり予算計上(△129.8万円) ※財源内訳・その他・・・基金繰入金(1,600.0万円)、スポーツ振興くじ助成金(2,000.0万円) 					

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	08	協働
取組の基本方針	01	協働のまちづくりの推進

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	自治会活動等支援事業
担当課	生活環境部市民生活課

目的と 事業概要	地域活動に関するセミナーや意見交換会を実施し、自治会活動への理解と認識を深めることで、市民等の自治会への参画意欲の向上を図る。
前年度までの 実施内容 と効果	<p>①えべつ地域活動運営セミナー 年1回開催。30～50名が出席。</p> <p>②女性意見交換会 毎年複数回開催。10～30名が出席。R1年度は①とコラボしての開催も行っている。</p> <p>※いずれも今年度はコロナウイルスの影響により開催を中止としている。</p>
R3年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>①これまで実施してきたセミナー等に対する内容等について</p> <p>②新たに実施する各自治会へのアンケート調査について</p>

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】							
	えべつ地域活動運営セミナー経費・女性意見交換会経費	4.6	7.4	7.3	△0.1	7.3	
	アンケート実施経費			4.9	4.9	4.9	
計		4.6	7.4	12.2	4.8	12.2	
財 源 内 訳	国・道支出金						
	市債						
	その他						
	一般財源	4.6	7.4	12.2	4.8	12.2	
主な増減理由(前年比)		アンケート実施に伴う経費の増					
査定内容		・要求どおり予算計上					

令和3年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	99	政策の総合推進
取組の基本方針	01	政策の総合推進

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	固定資産現況調査等高度化経費
担当課	総務部財務室資産税課

目的と 事業概要	<p>【目的】 固定資産税の対象資産を確認する現況調査業務や地図を利用する業務を改善するために、空中写真及び地理情報システム(GIS)※'を導入する。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空中写真で実地確認が必要な資産を把握する。 ・地図を電子化して地理情報システムやタブレットを利用する。 ・空中写真は、現況図(地図)の作成や地理情報システムにも利用する。 ・地理情報システムは、他部署でも利用できるものとする。 ・事業は段階的に実施し、空中写真を本格的に利用した現況調査は令和6年度からを予定。 ・令和3年度は空中写真の撮影・オルソ画像※'作成、地理情報システムの導入・電子地番図の整備。 <p>※'地理空間情報を電子地図上で一体的に処理するシステム ※'地図と重ねあわせることができるよう加工された空中写真</p>
前年度までの 実施内容 と効果	令和3年度新規予定事業
R3年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況調査に空中写真を利用することについて。これまで、現況調査の実施にあたっては広報えつやホームページなどで周知しているほか、調査対象地区には自治会を通じて事前にアナウンスしてきている。

(単位:万円)

予算状況		R1決算	R2予算	R3要求	前年比	予算案	増減
財 源 内 訳	【積算内訳】						
	委託料			1,930.4	1,930.4	1,900.0	△30.4
	空中写真撮影・オルソ画像作成・地番図データ作成 地理情報システム(GIS)・現地調査システム導入費						
	使用料及び賃借料			130.9	130.9	130.9	
	地理情報システム(GIS)・現地調査システム利用料						
	備品購入費			25.9	25.9	25.9	
	計			2,087.2	2,087.2	2,056.8	△30.4
	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源			2,087.2	2,087.2	2,056.8	△30.4
主な増減理由(前年比)							
新規事業							
査定内容							
・事業費精査の上、要求どおり予算計上(△30.4万円)							